

アイセバ 第2回 生物の多様性を育む農業国際会議 (ICEBA2012) を佐渡で開催



7月16日から18日までの3日間、両津やまきホテルをメイン会場として、「第2回生物の多様性を育む農業国際会議（以下ICEBA2012）」が開催されました。

参加者数

【海外】韓国、中国を中心に50名

【島外】250名

【島内】100名

会議内容

この会議は、「人・生きもの・自然に思いやりのある豊かな農業」をテーマに生物多様性を育む生きもの調査のあり方、生きものを育む農法の技術確立、農業と農村が育む風景・伝統文化の持続可能性をそれぞれ現地調査・分科会を実施し、大会宣言と生物多様性条約第11回締約国会議（以下COP11）への提言を取りまとめ、世界へ未来へと発信するものです。

世界農業遺産（ジオアス）にも認定され、トキが自然界に復帰し、野生でのふ化と巣立ちも実現できた佐渡は、人と自然が共生する社会づくりを考える舞台にふさわしいところです。

会議を通して、佐渡の取り組みから参加者同士が生物の多様性を育む農業を共通認識し、交流も深めることができた意義のある大会となりました。

◆市役所農林水産課 ☎63-3761



分科会の様子（第1分科会）



基調講演を行う武内和彦国連大学副学長